

原子力発電のゴミを マジで考えてみる

毎日あたりまえに使う電気。あたりまえと引き換えにゴミが生まれることを知っていますか？
原子力発電によって発生する高レベル放射性廃棄物、その処分地はまだ決まっていません。
私たち慶應義塾大学あじさいプロジェクトは、この夏、この問題を学び、対話を始めました。
誰かに任せるのではなく、今を生きる私たちの問題に本気で向き合いたい。
原子力発電のゴミのこと、マジで考えてみませんか？

2026年
10月25日

14:00-15:30

渋谷キューズ
スクランブルホール

参加費
無料

渋谷駅直結

東京都渋谷区渋谷2-24-12
渋谷スクランブルスクエア15階
SHIIBUYA QWS内



ショート動画クリエイター
ISSEI

Send Out (国際問題を伝える)、Aid (助けを求めている人を救う)、Learn (世界の現状を知る) をコンセプトに活動する慶應義塾大学公認学生団体S.A.L.に所属するプロジェクト。福島県でのフィールドワークを通じて、原子力発電をめぐる課題を多角的に学ぶことを目指している。

登録者数7600万人を誇る日本のトップ
動画クリエイター。言葉の壁を超えたノン
バーバル (非言語) な表現と独創的なアイ
デアを武器に、ショート動画で圧倒的な支
持を集める。Forbes「30 UNDER 30
ASIA 2026」に選出。



慶應義塾大学
あじさいプロジェクト

Program

第1部

ISSEIさん
オープニングトーク

第2部

慶應義塾大学生による
プレゼンテーション

第3部

ISSEIさん

×
慶應義塾大学
あじさい
プロジェクト

×
経済産業省
エネルギー・地域政策
統括調整官
吉村一元さん

申込

二次元コードで
お申込みください。

※下記お問い合わせ先の
e-mailでも承っております。

先着順 定員:200名

お申込み後、参加確定のメールをお送りします。



“原子力発電のゴミ”って？

原子力発電で使い終わった燃料の約95%はリサイクルして再び燃料として使うことができます。一方、残りの約5%は「高レベル放射性廃棄物」になります。高レベル放射性廃棄物は、長い期間にわたって放射線を出し続けるため、地下深くの安定した岩盤に埋設する「地層処分」を行うことが国際的に共通した考え方となっています。